

# — HSK

# わだち

—全国筋無力症友の会道支部ニユース—

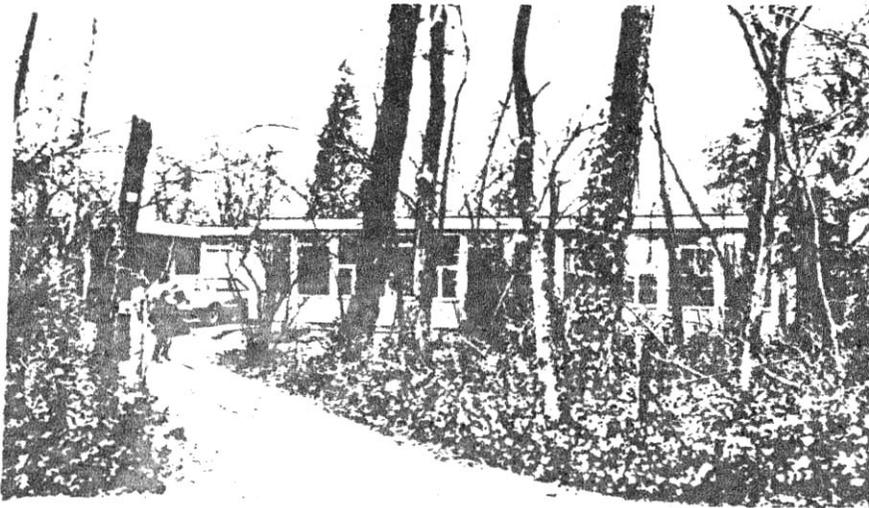
編集人 全国筋無力症友の会道支部  
〒060 札幌市中央区大通西9丁目  
協栄生命ビル9階 ☎261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市中央区北1東4 本間たけし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻95号

昭和55年3月10日発行 (毎月1回10日発行)

わだち№27 1部 30円



# も く じ

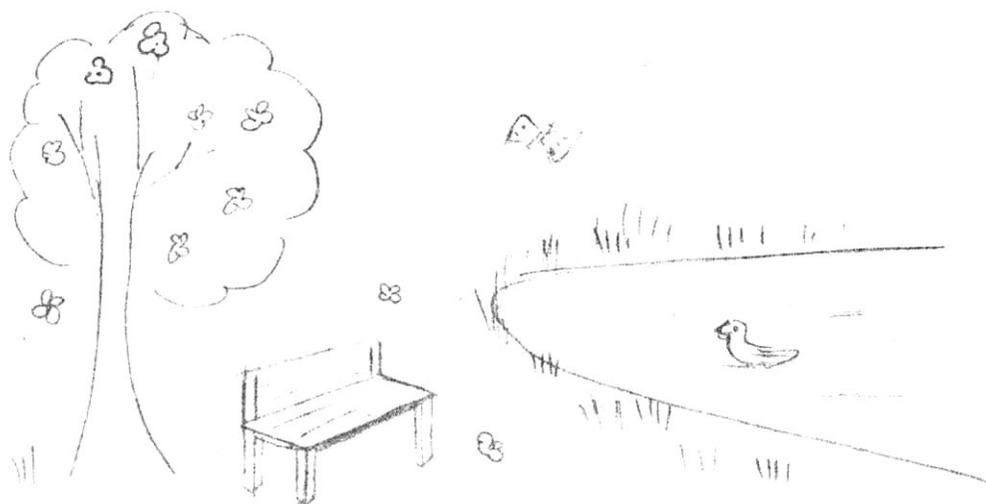
- 。 北海道にも春が ..... / ページ
- 。 “80年の春” ..... 2~3
- 。 全国大会 - さつろ ..... 4
- 。 皆ん こんにちほ 山田です ..... 5~7
- 。 1981年 国際障害年 ..... 8~9
- 。 新入会員のお知らせ ..... 9
- 。 こほれ話 あれこれ ..... 10
- 。 あと ..... 11
- 。 北海道支部総会のお知らせ ..... ”

北海道にも春が〜



皆様 お元気ですか。お体の調子はいかがでしょう。  
うが。今年に於いて初めての「わたら」ですネ  
早いもので、80年と言う年がスタートして三ヶ月が過  
ぎようとしています。予定は未定で、二月に発行予定  
の「わたら」も三月に於いてしまいました。

北海道の長かった冬もやっと春めいて来た。今日  
この頃ですネ。今年こそは〇 と思っけてい子皆様  
今年こそは 本当に何か良...事がある事を望みますネ  
おクサリの量を減す事に努力している方。お仕事を  
しろうとしている方。結婚を と考之てい子方。おと  
色々の夢をおもちの事お思ひます。あせらず、ゆ  
くりと その目的に向かひて 前進しましよ  
本当の春が 今こそ来ているかもしれませんが



# '80年の春

鎌田 毅

きびしい北風もようやくやわらぎ、どこかに春の足音が聞こえてくる頃となりましたが、その後皆様お変わりありませんか。薬の量が入った、働きはじめた等明るい面がある反面、まだ長期の入院生活と戦っている方々も多いようです。最近のこの病気に対する医学の進歩はめざましいようです。長いきびしい冬の後にさわやかな春がおとすれることを信じて、がんばって下さい。

しかし、新しい年1980年を迎え、今年は何か良い事はなかりょうかと新聞を広げれば、石油・電気・水道・郵便・野菜・学費……とあらゆるものが、われもわれもと値上げのラッシュ。社会保障や難病対策はと目も上下・左右しても、今はそれどころではないらしい政治の動き。

昨年1979年は国際児童年、そして来年1981年は国際障害年とか。今年はしかたがない。来年は何か良い事ありそうだ……とと思ってけたが、昨年の国際児童年は、子供達にとって、具体的に何か良い事があったのだろうか？……TVの「今日も、子供達は♪小さな手を広げて♪……」という歌は思い出すが、そして自分自身は何をしたのだろうか。すると来年の国際障害年も、お祭りに終わってしまうのかもしれない——。いや、昨年は子供達自身の主体的・組織的行動がなかったからではないか、そんなこと、子供達には無理なのだから、障害者にもやはり無理なのかな？

国際障害年を単なるお祭りに終わらせるべきではない。「内部障害」の確立や障害者の人権意識の確立、障害年金の引き上げ等、具体的な前進を組織的に進める絶好の機会であると、とらえたいものです。そして、この年が筋無力症友の会結成10周年の年にもなることに何かの意義を見出したいたいのだと思います。

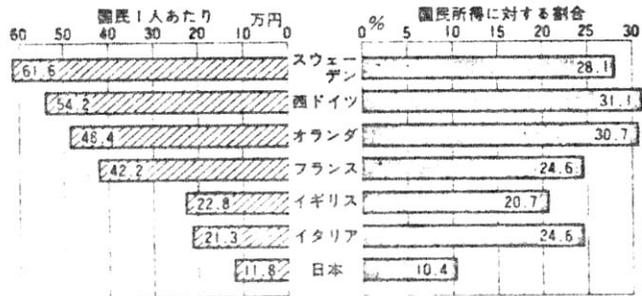
そして今年も、その前年にあたるわけですが、友の会全国大会を8月30～31日かけて札幌で開くことになりました。一人一人が、自分の体すら満足に動かさない者の集まりですから、大それたことはできないと思いますが、「一人の百歩より百人の一步」の精神でがんばり、何とか成功させたいものです。

そんなわけで、例年夏に行われていた支部大会は4月29日(火)に開かれることになりました。

ところで、2月下旬、伊藤ご夫妻が政州の視察から帰国されます。友の会のためのみならず、日本の社会保障・福祉・難病等のために多くの土産をもってきて下さるでしょう。

そんなこともあって右のグラフをのせてみました。経済大国日本の「うさぎ小屋に住む働きざちな人達」の社会保障の実態を国際障官年を迎えるにあたり、考えてみたいものです。

◎ 62-1 主要国の社会保障費 (1975年度)



深い雪の下では、花や虫たちが、春の準備をはじめていることでしょう。生命の力を信じ、生きることのすばらしさを知る年にしたみたいものです。



# 全国大会—さっぽろで

80年度 友の会 行事予定

- 2月 伊藤さんご夫婦 フィンランド視察
- 4月 北海道支部 総会 (4月29日(火)・教育文化会館)
- 6月 難病連 合同レクリエーション
- 8月 第9回 全国総会  
(8月30・31日・北海道会館)
- 9月
- 11月 難病集団無料検診相談会
- 12月 テマリテイ クリスマスパーティ

皆さんの力で 全国大会を成功させましょう!

---

◇ 住所変更のお知らせ ◇

・稲見 和美さん 札幌市

・横浜 陽子さん 苫小牧市

・林 愛子さん 豊平区

・新谷 礼子さん 札幌市



皆さん こんにちは 山田です。



難病連の理事として、友の会から理事会  
に出席させて頂いている山田です。

前々から、緑川さんから原稿の催促をされ  
ていたが、生来の怠け者のために、その気は  
大いにあったのですが、今日まで延び延びにな  
ってしまいました。これから難病連のこと、伊藤  
さんのご活躍振りやご苦労されていることなどを  
側面からお知らせしようと思っておりますが、今回は  
私の争から書きます

私は四十一年冬に発病し、札幌医大眼科  
で病名をつけられましたが、左眼の眼瞼下垂の  
みで、それは一年中で冬期間だけ症状が現われ  
るという大変軽い型でしたので薬も飲まなくて  
昨年五月まで経過しました。

ただその間に四十七年七月になってX線写真を  
撮ったところ巨大な胸腺腫が見つかり八月に手術  
しました。眼瞼だけで自覚症状はなかった訳です  
が手術後は少し眼瞼下垂も良くなったようでした。  
ところが五十三年冬頃から左眼瞼が下がる

うになり暖くなっても治らないので嫌だ+ と思っていながら五月に入ってから長く喋ると言葉が出なくなることが、何度か生じました。伊藤さんも心配されて、宮田先生に診て貰いたらと忠告してくれていたのですが、5月12日とうとう風邪声となったと思ったら39°Cの発熱と同時に水も食物もノドを通らなくなりました。

発病以来十二年半でいよいよ本物の重症筋無力症になったのかと大変驚き、不安になりました。

十五日病院へ行きウレチットを注射し、生れて初めてマイテラーセを飲みました。本当に良く効き眼はパツテリ、水はカブカブ、大声でも話す事が出来自分でもビックリする程、唄も歌え、その効果には仰天しました。

その後、マイテラーセ一日0.5錠、プレドニン3錠を服用するようにいわれましたが、プレドニンを飲ると汗が多く出て胸が悪くなり調子が良くないようだったので、勝手に中止し、マイテラーセだけの服用を六月中旬まで続けましたら、ほとんど元に戻ったようでした。七月からは病院にも行かず普通に仕事をしています。プレドニンはそのうちにチャント飲んだ方が良かった、と思っています。とにかく飲もうと思った水が自動的に鼻から出たり、声が出なくなったり

声が出ない「はつぱり」で、私も発病以来十二年半で友  
の会の正会員に「はつぱり」です。今度は、この相談を  
受けても身にしてみても良く解ると思っておりますので、お会  
いするのを楽しみにしています。

今回は、これで止めますが、

この次からは難病連の  
ことなど書きたいと思っ  
ています。

どうぞ、皆様もかせなど  
ひきませんよう気を付けて  
下さい。



ご寄付 ありがとうございます。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ・広瀬 京子 さん 2000円   | ・ほまゆう会 様 15000円   |
| ・高杉 先生 3000円      | ・熊谷 道代 様 1500円    |
| ・坂本 静江 さん 50,000円 | ・大島 ティヤ 様 5,000円  |
| ・宇野 芳子 さん 10,000円 | ・小木田 一志 様 10,000円 |
| ・矢田 様 2,000円      | ・原田 美恵子 様 10,000円 |
| ・石田 ミニ 様 10,000円  |                   |

## 1981<sup>ねん</sup> 国際障害年

国際児童年に続く1981年の国際障害者年は、障害者にかかわる医療、教育、労働、生活などを総合的に再検討し、障害者の人権を守るにふさわしい制度と思想を確立していくことが、つよく望まれています。

最近、国と自治体の財政危機を理由に、「福祉切り下げ」論や「バラマキ福祉」の攻撃が一段とつよまり、障害者の生活と権利を守る運動は大きな困難に直面してきました。しかし、こうした困難のなかでも、障害者と家族、関係者の努力によって、養護学校教育の義務化、身体障害者雇用促進法改正などを実現させ、中央、地方でも具体的な要求を実現させるなど、着実な前進もありました。

国は、部分的には障害者の要求をとりいれながら、——これ自体決して十分なものではありませんが、——しかし医療、年金など社会保障制度の基本にかかわるところではいささかの妥協もなく、「低福祉」政策をおしすすめています。改正された身体障害者雇用促進法でも、法改正後4年を迎えるようとしているにもかかわらず、大企業の障害者雇用はその80%が法律以下という実態は、

大企業の社会的責任も放棄していることを示しています。

国の政治が障害者の生きるぬかいかからますますかけはなれている時、すべての障害者と家族が手をつないでさらに大きな運動としていくことにより、障害者の人権を守るという基本課題に到達できると思います。そのためにも国際障害者年の国際的意義と国内での具体的な要求と運動をできるだけ多くの人びとで検討しましょう。

### 新入会員のお知らせ

- ・清水 敏恵 さん 釧路市
- ・大沼 美恵子 さん 札幌市
- ・天口 京子 さん 紋別郡
- ・大西 一成 さん 虻田郡

### 賛助会員

- ・原田 美恵子 さん
- ・小田島 三四子 さん
- ・梅田 東支子 さん
- ・小竹 笑美子 さん



こぼれ話 あいこい

正木 ひとみさん この結婚おめでとウ!

今の度の希望にも載っていきしたネ 旧姓北川さんが  
この結婚、53年に7 北海道にも、遊びに来られた  
ひとみさんが、コ-ルイン。

次は誰が? 早く良..知らせが  
「私たち」にも載る事を望んでいすオ



林 愛子さんが おつとめしよしたヨ

頑張りの林さんが 札幌に出て来てお仕事を  
していす。これからもお体に気を付けて頑張っ  
て下さい。

市立病院で頑張っているオ

鎌田さんと 奥さんが 札幌市立病院に入院。  
外来に来た方は チョット 顔を出してみませんか  
鎌田さん 54年4月16日より入院してあります。

5階 話所の前病室です。

奥さん

遠いとこからの入院生活です。

3階 418号室

## あとがき

- ・二月月に一度の“わたち”発行もおくおはせたいから三月に入りの発行、遅くおつてコメントさん、私どももカセと仲良くなり、少々スランプさみ早く発行してはと気がかりおせおはせたいおはなにか進みますせん。



- ・春がやってきました。三月のトカ雪で又春パーティ遠ざかっています。カセをひまますせんより、気を付けて下さい。
- ・貴方の病歴、今考えている事、思っている事はおたより下さい。

## 支部総会のお知らせ

- ・4月29日(火) 11時より16時まで (昼食をはさんで)
- ・札幌市教育文化会館
- ・主なプログラム
  - ・総会議事
  - ・医療講演と相談 北大神経内科 田代 邦雄 講師
  - ・ヨーロッパの患者会の話 伊藤 たてお

+++ あなたの会費は ++++++  
+  
+  
+ 昭和 年 月～昭和 年 月まで納入されております。 +  
+  
+ 会費の納入は、同封の郵便振替用紙をご利用ください。 +  
+ 切手でも可 (1年分3000円) +  
+++++

編集人 全国筋無力症友の会北海道支部

☎060 札幌市中央区大通西9丁目  
協栄生命ビル9階 ☎261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市中央区北1東4 本間たけし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可HSK通巻第95号

昭和54年3月10日発行(毎月1回10日発行)

わだちNo.27

1部30円